



University of the Ryukyus Library Bulletin Vol.34 No.2 (No.130) Apr. 2001

情報の宝庫**附属図書館**へようこそ



附属図書館長 宜保 清一

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。琉球大学に入学されたことは長期にわたる努力と忍耐の結果であります。諸君の胸はこれからの学生生活への期待と不安と開放感で一杯のことでしょう。これまで諸君を支援して下さったご家族や関係者に対してもお慶びを申し上げます。諸君はこれから一人前の大人として扱われます。自分自身で選択し行動する自由を有しています。しかし、それに伴う責任も大きいです。自由と規律は表裏一体であることを肝に銘じてください。たとえば、早速講義が始まりますが、自由と規律をわきまえた目的意識のある学生は、受講態

度がきわめて良いです。もちろん遅刻はしないし、目が輝いています。一人ひとりの態度は教室の雰囲気大きく左右します。先生方も講義に工夫を凝らしていますので、集中力をもって受講することを希望します。

琉球大学は「教養と品性のある人材養成」を目指しています。学生が教養を身につけ人間形成を図るためには、良書を多く読むことが一番です。受験時代に読書の習慣を持続できなかった多くの学生が活字離れ現象を起こしているといわれます。素晴らしい図書が附属図書館に所蔵されています。来たれ、諸君！

附属図書館は諸君を待っています。大学は

情報の宝庫・附属図書館へようこそ	1	次	
電子ジャーナルにアクセスしよう	3	雑誌記事をさがす-MagazinePlusの使い方	6
図書館を使いこなそう	4	お知らせ	8

附属図書館のホームページ (<http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/>) もご覧下さい。

知の宝庫といわれます。知の宝庫を生かした教育研究を支援する附属図書館は情報の宝庫です。附属図書館は、諸君がこれまで利用してきた学校図書館や公共図書館とは随分異なり、情報の宝庫に値する機能を有しています。ちなみに本館および医学部分館の蔵書数は90万冊に及びます。これらの蔵書は、目録のデータベース化が進められていますので、ますます利用し易くなります。附属図書館は、IT社会に向けて、電子図書館的機能を充実・強化し、情報のデジタル化やグローバル化に備えています。また、教育研究・文化交流の情報集積・発信の中核として学内外に広く貢献できる体制を構築しつつありますので、電子情報提供システムが諸君にとって身近なものになります。近い将来、キャンパスはもちろん、自宅からでも海外旅行先からでも、何時でも端末でアクセスできるようになります。競争的環境の中で輝いている先進的企業の図書館では、図書が欲しい、資料が欲しい、こんなことをどうやって調べるのかなどの社員の問いかけや依頼に対して対応できるシステムがすでに構築されているそうです。

社会・企業で今一番求められている人材は「提案力」のある人です。要求された課題解決に関心のある、つまりモチベーションの高い人でしょう。「自分なりの考え方」なしに上司に相談したり、従来の仕事の延長で押印をもらう手続きに埋没してしまうと、本当の意味で成果を挙げたことにならない。一人ひとりにより高い能力と判断力、意識が求められてきています。このような人材を一言でいえば「課題探求型」の人です。大学審議会の答申「21世紀の大学像と今後の改革方策についてー競争的環境の中で個性が輝く大学ー」では、改革方策のひとつに「課題探求型の学生の育成」が挙げられ、「教養教育の重視」がうたわれています。琉球大学は「教養教育の重視、教養教育と専門教育の有機的連携の確保」のために、「少人数制による専門基礎教育科目の導入」を計画・実施します。附属図書館では、この改革方策を支援するために、学生の自学自習の場としての機能を高めるとともに、教養図書の選定や外国図書の補充・充実を進めています。教育研究支援体制の改

善では、開館時間について、平日、土・日曜日、祝日の時間を延長してきましたが、今後は夏期休業期の開館時間の延長と医学部分館の24時間開館システムを導入する予定です。本館ラウンジの充実・閲覧席数の増強も計画しています。

また、琉球大学ではグローバル化時代に求められる教養を重視した教育の改善を進めています。附属図書館は、教育・学習支援機能のひとつとして情報リテラシー教育を提供しています。学生諸君が「主体的に情報を収集し、分析し、判断し、創作し発信する能力を養うことが不可欠」であり、図書館職員が授業に参加し、担当教官と協力してさまざまな情報・教材を電子化して提供しています。教育・学習用資料整備のための選定・収集体制、夜間主コースの教育・学習支援の拡充、インターネットで図書館のさまざまなサービスが受けられるような整備を急いでいます。

来たれ、諸君！ 情報の宝庫・附属図書館へ！ 附属図書館は諸君を待っています。

(ぎば せいいち：農学部教授・土地環境保 全学)

新入生オリエンテーション案内

図書館では、新入生のための図書館オリエンテーションを行います。充実した大学生活をおくるために、図書館の活用方法をガイドしますのでご参加ください。

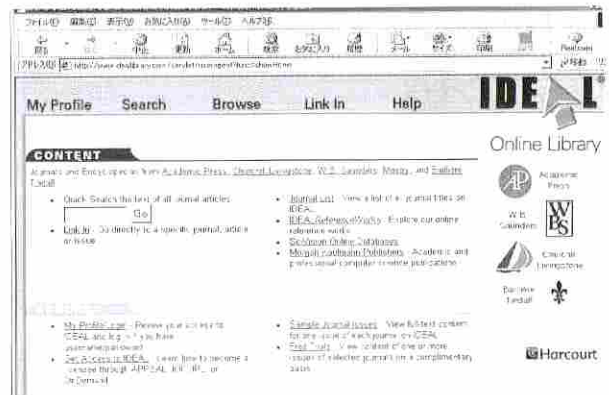
開催日	4月10日(火)～20日(金)
開催時間	14:00～15:00
集合場所	本館1階 多目的ホール
内容	図書館施設の案内 OPAC、ホームページの利用

電子ジャーナルにアクセスしよう

電子ジャーナルとは、インターネットを通して、学術雑誌の本文が直接読めるサービスです。図書館に来なくても、学内ネットワークに接続された端末であれば、どこからでもアクセスできます。研究室にいながらにして海外の定評ある学術雑誌に掲載された論文を入手できます。もちろん自分のパソコンにダウンロードしたり、プリントアウトすることもできます。これまで、海外の学術雑誌は到着の遅れや欠号などにより、図書館で購読しているのに論文が読めないといった状態になることがありましたが、電子ジャーナルではその心配もありません。

論文が掲載されている雑誌のタイトルや巻号がうろ覚えでも、著者名や論文タイトル中の語で探し出すことができますから、雑誌の山と格闘する必要もありません。さらに、WWWの特長であるハイパーリンクを利用して、関連文献を芋づる式に探すこともできます。

附属図書館では、こうした優れた機能を持つ電子ジャーナルの導入を積極的に図って来ました。これまでのElsevier社(Science Direct)の約1,200タイトルに加えて、今年度からはAcademic Press社の全タイトル約250誌が見られるIDEALという電子ジャーナル・サービスを契約しました。



[IDEAL ホームページ]

また、国立情報学研究所(NII)が契約して、全国の大学図書館に提供しているOxford University Pressの雑誌も全タイトル111誌がご覧いただけます。これらの中には自然科学系だけでなく、社会科学、人文科学系の雑誌も含まれています。

これらの雑誌はすべて図書館のWebページからアクセスすることができます。ぜひアクセスしてみてください。

URL: <http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/retri/oj/>

電子ジャーナル利用促進キャンペーンのお知らせ

附属図書館では、より多くの方に電子ジャーナルを利用していただくための説明会を開催いたします。学部講座、病院診療科・施設、附属施設などのグループでお申し込みください。

日時・場所等は調整させていただきます。

お申込・お問合せ先：附属図書館電子情報係 内線（千原）8167, 2207

E-mail: elrserv@lib.u-ryukyu.ac.jp

図書館を使いこなそう

図書館の入口は2階です。

どんな本があるのか?→パソコンで調べます。

使い方がわからないときはカウンターへ。



本を読みたい

一般図書→3階

新着雑誌→2階左奥

沖縄資料→2階右(沖縄開架資料室)

古い図書・雑誌→書庫



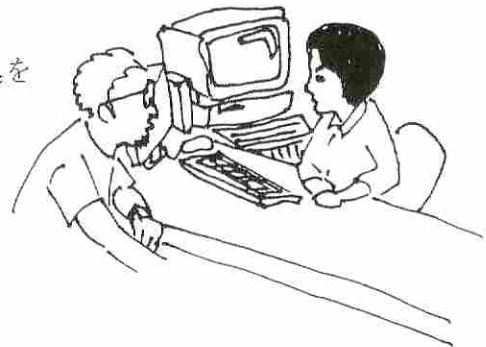
本を借りたい→2階貸出カウンター

図書館の資料をコピーしたい→2階入口脇コピーコーナー

ビデオ資料を視聴したい →2階カウンターで申込を

マイクロ資料を見たい

学習のために部屋を使いたい



琉大の図書館にない資料を入手したい

→2階総合案内カウンターで相談を

インターネットを利用したい

→1階オープンサテライトへ

(総合情報処理センターで利用者IDを取得する必要があります)



館内で守ってほしいこと

- ・飲食、喫煙は禁止です。
- ・携帯電話はマナーモードに。閲覧室内での会話は厳禁です。
- ・読み終わった本は元の位置に戻してください。
- ・本を借りるときは必ずカウンターで手続きをしてください。
手続きをしないで持ち出そうとすると警報が鳴ります。

イラスト：城間弘充(庶務課)

電子情報サービス

図書館ホームページを通して、さまざまな情報にアクセスできます。

- ・ 蔵書目録 (WebOPAC、WebCAT等)
- ・ 文献情報データベース (Magazine Plus、Web of Science等)
- ・ 電子ジャーナル
- ・ インターネット上の情報源



ライブラリーワークショップ

データベースや図書館資料の利用法の講習会です。どなたでも参加できます。

沖縄関係資料

- ・ 沖縄に関する資料を網羅的に集めています。本学にしかない貴重な資料が多数あり、研究の拠点となっています。毎年、展示会も行っています。



(沖縄資料展示会)

国際資料

国際連合(UN)、欧州連合(EU)、経済開発協力機構(OECD)の資料を、広く一般利用者に公開しています。



雑誌記事を探す－MAGAZINEPLUSの使い方

<図書館カウンターでの会話>

学生： “IT革命”についてレポートするようという宿題が出たので図書館の蔵書をOPAC（オーパック：蔵書検索システムの名称）で探してみたのですが、その関連の本がちょっと少ない気がしたんです。他に何か役に立ちそうな資料がありませんか？

図書館員： そうですねえ．．． ITはここ1～2年で使われるようになった言葉ですから、資料の探し方としては出版されて間もない新しい資料から探すほうがよいでしょうね。こんな時は、本よりはたとえば毎月・毎週出版される雑誌の記事を最近のものから順に探すほうが有効な場合が多いので、まずは最近出版された雑誌記事の中からITに関連ある記事を集めてみることから始めてみませんか。そのとっかかりの最初にMAGAZINEPLUSを検索することをお勧めしますよ。

雑誌の記事を探すためには、一冊づつ手にとって目次で探すよりもデータベースを検索した方が効率的です。ここでは、日本で出版されている雑誌の記事を探すための基本的ツール『雑誌記事索引』を含むデータベースMAGAZINEPLUSを紹介します。

■ MAGAZINEPLUSとは

MAGAZINEPLUSは下記の情報源から構成され、それらをまとめて、あるいは単独で検索できます。

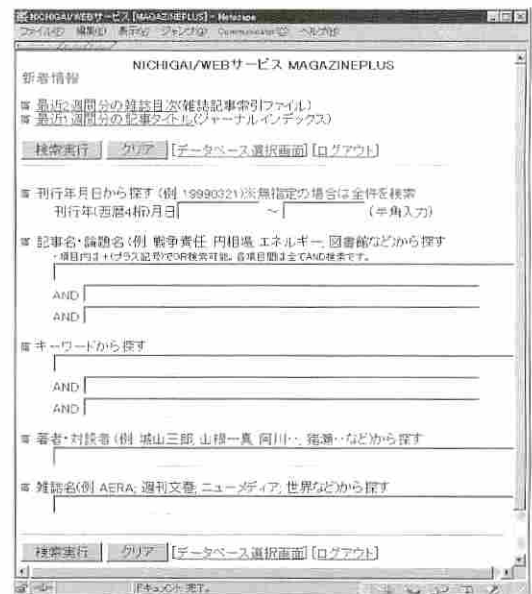
- －雑誌記事索引（国内学術誌・専門誌）
- －ジャーナルインデックス（国内一般誌）
- －JOINT（産業、経済、労働関係誌）
- －KSK（海外の産業、企業関係誌・日本語の要約付）
- －学会年報・学術論文集（国内人文・社会系学会誌）

■ MAGAZINEPLUSを利用できる場所

図書館内にあるパソコン、また図書館外であっても学内LANに接続されインターネットが利用できるパソコンなら利用できます。図書館のホームページにアクセスすれば、MAGAZINEPLUSの利用が可能なWebページにたどりつけます。

■ 検索例

先ほどのカウンターでの質問をもとに、MAGAZINEPLUSの簡単な検索方法をご紹介します。



キーワードを入力する

“IT革命”についての資料集めなので、「IT革命」または単なる「IT」などという言葉（これらをまとめて「キーワード」と言います）を手がかりに検索をします。キーワードを検索画面の「キーワードから探す」欄に入力します。

最近の雑誌から探すには

掲載雑誌の刊行年を指定できるので、「刊行年月日から探す」欄に西暦と月日を入力します。たとえば、この2年間（2000年～2001年）で出版されたもの、という条件ならば「20000101～20011231」というふうに入力します。

検索実行ボタンを押す

探す条件を入力し終わったら、最後に検索実行ボタンを押します。

検索結果一覧が表示される

一覧では、標題・著者名・雑誌名・巻号・刊行年月日・掲載頁などが一部文字制限されて表示されます。

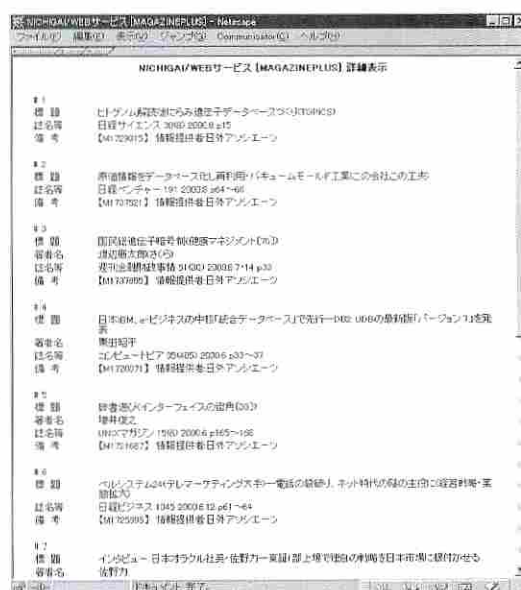
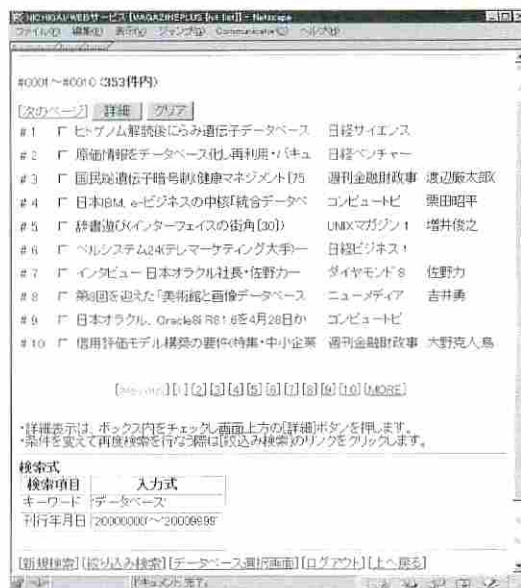
詳細表示

詳細を見たい記事のチェックボックスにチェックをして詳細ボタンを押します。条件を変えて再度検索を行なう際は絞込み検索のリンクをクリックします。

読んでみたい雑誌記事が見つかったら

読んでみたい雑誌記事が見つかったら、それを掲載している雑誌（巻号も含めて）が琉大図書館が実際に所蔵しているかどうかをOPAC（琉大図書館蔵書検索システム）で確かめましょう。

もし、OPACで調べて必要な雑誌（巻号）が琉大図書館に所蔵されていなければ、他の大学からコピーを取り寄せることもできますので、その申し込み方法を図書館カウンターでお問い合わせください。



注意！：上記は2001年3月現在の画面です。2001年4月よりMAGAZINEPLUSの画面が変更される予定ですので、多少実際の画面と異なることがあります。ご了承ください。

お知らせ

◎ 開館案内 2001年4～6月

4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5						1	2
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
29	30						27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30

- ・ 開館時間 通常期：月～金 [黒字] 8:30～22:00 土・日・祝 [緑字] 13:00～20:00
- ・ 休業期：月～金 [青字] 8:30～17:00 土・日・祝 [赤字] 休館
- ・ 休館日 土・日・祝（春季休業：～4/4）、開学記念日（5/22）、定例休館日（4/26、6/28）

※ 本館では当月、翌月の開館案内（カレンダー）を入り口及び掲示板に掲示しています。ご留意ください。（年間の開館案内はホームページをご覧ください）



☆は休業期（上映13:30～）
 その他は通常期（上映①15:00～）
 （上映②18:00～）
 上映場所：琉球大学附属図書館
 1階多目的ホール
 又は1階AV視聴室(共同学習室)

【4月の予定】

- 4月4日（水）チート:THE CHEAT/1915/アメリカ映画 44分
- 4月11日（水）或る夜の出来事:IT HAPPENED ONE NIGHT/1934/アメリカ映画 105分
- 4月18日（水）現金に手を出すな:TOUCHEZ PAS AU GRISBI/1953/フランス映画 96分
- 4月25日（水）黄金の腕:THE MAN WITH THE GOLDEN ARM/1955/アメリカ映画 119分

【5月の予定】

- 5月2日（水）カリガリ博士:DAS CABINET DES DR. CALIGARI/1919/ドイツ映画 67分
- 5月9日（水）ロイドの要心無用・キートンのセブンチャンス:SAFTY LAST・SEVEN CHANCES/ 1923・1925/アメリカ映画 120分
- 5月16日（水）野ばら:DER SCHONSITE TAG MEINES LEBENS/1957/ドイツ映画 95分
- 5月23日（水）白夜:LE NOTTI BLANCHE/1957/イタリア映画 107分
- 5月30日（水）炎のランナー:HARIOTS OF FIRE/1981/イギリス映画 118分

【6月の予定】

- 6月6日（水）西部戦線異状なし:ALL QUIET ON THE WESTERN FRONT/1930/アメリカ映画 129分
- 6月13日（水）誓いの休暇:Б А Л Л А Д А О С О Л Д А Т Е/1959/ソ連映画 87分
- 6月20日（水）ひめゆりの塔/1995/東宝映画 121分
- 6月27日（水）僕の村は戦場だった:IVANOVO DESTSTVO/1962/ソ連映画 94分

琉球大学附属図書館報 “びぶりお” 第34巻 第2号（通巻第130号）
 平成13年4月1日発行
 発行：琉球大学附属図書館 〒903-0214 沖縄県中頭郡西原町千原1番地
 電話 098(895)8168 Fax.098(895)8169
 発行人：附属図書館事務部長 伊藤 祐三 編集：“びぶりお”編集委員会